

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会  
2021年度 第3回定例理事会議事録要旨

日 時：2021年5月20日（木）17：30～20：00

場 所：北里大学医学部上部消化管外科学 主任教授室（WEB 会議システム「ZOOM」使用）

出席者：理 事 長：比企直樹

副理事長：福島亮治

特任顧問：平井敏弘、平田公一

監 事：倉田なおみ、田妻 進、土岐祐一郎

理 事：飯島正平、石井良昌、遠藤陽子、大石英人、尾花和子、小谷穰治、小山 諭、  
齋藤恵子、佐々木雅也、清水孝宏、鈴木 裕、高増哲也、千葉正博、中瀬 一、  
鍋谷圭宏、丸山道生、三原千恵、名徳倫明、室井延之、森みさ子、山中英治、  
鷺澤尚宏

事務局幹事：櫻谷美貴子、新原正大

記 録：瀧田実隆（事務局）

欠席者：監 事：花崎和弘

理 事：犬飼道雄、祖父江和哉

（敬称略：五十音順）

議 題：

**I. 理事長挨拶**

定款第5章第29条に則り、2021年度第3回定例理事会を開催することが宣言された。議長は理事長が務め、議事録署名は定款第33条に則り理事長と出席した監事（倉田なおみ、田妻 進、土岐祐一郎 各監事）となることが確認された。また、本理事会の運営指針として、会議の簡素化・効率化等を図り、重要な議事に時間と労力を注力し、すべての内容に関して透明性を確保する方針が示され、議事に入った。

**II. 前回・前々回理事会、第8回定時社員総会議事録の確認について**

前回・前々回理事会および第8回定時社員総会議事録案が承認され、議事録署名手続きに入ることが報告された。

**III. 会員動向について**

事務局より2021年3月31日時点の会員動向について報告された。

■2021年3月31日現在 ※宛先不明41名含む、退会・休会除く

会員種別	2020年11月30日	2021年3月31日	増減
名誉会長	2名	2名	±0名
名誉会員	44名	43名	-1名
特別会員	54名	64名	+10名
代議員	256名	250名	-6名
学術評議員（代議員は除く）	468名	498名	+30名
正会員	21,283名	21,411名	+128名
寄贈会員	8名	8名	+0名
総数	22,115名	22,276名	+161名

■職種別

医師	4,661名	管理栄養士	6,236名	言語聴覚士	608名
歯科医師	440名	栄養士	61名	歯科衛生士	117名
看護師	4,054名	臨床検査技師	664名	診療放射線技師	4名
准看護師	2名	理学療法士	450名	その他*	666名
薬剤師	4,185名	作業療法士	128名	合計	22,276名

■2021年分会費納入率 ※宛先不明・退会・自動退会含む

会員種別	納入者数	未納者数	納入率
代議員	191名	59名	76.4%
学術評議員	376名	122名	75.5%
正会員	14,432名	6,979名	67.4%
総数	14,999名	7,160名	67.7%

IV. 2021-2022年度委員会改変について

比企理事長から理事会・代議員に行った希望アンケートも参考に2021-2022年度委員会・WG・WT・プロジェクトの委員案が示された。委員会の統合・再編に加え、新委員会の立ち上げも併せ承認された。選出された委員には、事務局より内諾確認を行う。

V. 関係学協会派遣担当について

2021-2022年加盟学協会派遣委員が以下の通り承認された。なお、一般社団法人 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）の各派遣委員は、鈴木保険委員長より検討中との報告がされた。倫理・利益相反の外部委員については、活動時に理事会で報告することになった。

■日本医学会

代議員 比企直樹（日本医学会連合加盟団体代表者兼務）  
 連絡委員 福島亮治  
 用語委員 中瀬 一  
 用語(代)委員 千葉正博  
 編集者会議(和文) 鍋谷圭宏  
 編集者会議(英文) 比企直樹  
 倫理 鷺澤尚宏  
 利益相反 鷺澤尚宏

■一般財団法人 日本栄養療法推進協議会

理事 大柳治正、佐々木雅也、比企直樹  
 監事 入山圭二、鷺澤尚宏  
 評議員 小谷穰治  
 認定委員 佐々木雅也、飯島正平

■日本栄養学学術連合

代表者 比企直樹

代理者 佐々木雅也

栄養サミット タスクフォース 佐々木雅也、斎藤恵子、遠藤陽子

■外科関連学会協議会

代表委員 比企直樹、福島亮治、千葉正博

※敬称略

VI. 2021 年度 総会・学術評議員会について

COVID-19 拡大の現状を踏まえ、2021 年度総会・学術評議員会は現地開催を行わないこととした。運営方法は検討し参加確認は、第 36 回学術集会事前参加登録を条件とすることが確認された。それに伴い、第 36 回学術集会（2 日目）のプログラムを 1 時間前倒しすることが確認された。

VII. 第 36 回学術集会について

鍋谷圭宏会長より、現時点で COVID-19 の終息は不透明な状況であることから、完全 WEB 開催となった場合に備え、千葉市内で WEB 中継会場の仮予約していることを報告された。また、開催方法の最終決定は、6 月中旬までに行うことが報告され、開催形態の判断方針について承認がされた。

VIII. 第 37 回学術集会について

飯島正平次期会長より、2022 年 5 月に移行した会期での会場利用規模における予算計画と参加人数の観点から検討し、準備を進めていることが報告された。

IX. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 審議事項

財務委員会、認定・資格制度委員会（尾花理事・福島副理事長）

- ・認定試験 WG 問題作成・選択会議における謝金支払い方針について

現地参加とオンライン参加によるハイブリット会議の謝金支給のための旅費・謝金支給規程の改定案が提示され承認された。改定案では 3 時間以内の会議は現地 15,000 円、オンライン参加は 10,000 円を基本とし、それ以外の事例は財務委員長の確認をもって対応することになった。

支部統括委員会（三原理事）

- ・副支部長選任について

支部規則に従い、各支部の副支部長が以下の通り承認された。なお、中国四国支部はこれまでの経緯と地域性の特徴を考慮し、2 名を選任した。

北海道支部：笠師久美子（北海道医療大学）

首都圏支部：千葉 正博（昭和大学）

中部支部：廣野 靖夫（福井大学医学部附属病院）

中国四国支部：山下 芳典（呉医療センター・中国がんセンター）、濱田 康弘（徳島大学）

※敬称略

栄養士・管理栄養士部会（斎藤理事）

- ・栄養サミットに向けた栄養学学術連合としてのコミットメントについて

同連合全体で取り組むべき柱となる共通テーマとして「食文化の特性を踏まえた健康で持続可能性のある食事評価のためのフレームワーク」の提案が求められている。JSPEN からのコミットメントとして「病院及び福祉施設における、動物性たんぱく質/植物性たんぱく質比率の低減」が提出され、アウトカムを含めたプランニングについての質問があり、時期を逸さないように検討をすすめていくことで承認された。

#### 認定・資格制度委員会（福島副理事長・三原理事）

- ・認定教育施設制度規則の制定について  
先の理事会での協議を踏まえ、整えた最終規則案が提出され承認された。学会ウェブサイトに掲載し、今後の臨床実地修練の事前申請施行を考慮して教育認定施設の指導責任者にも周知することになった。
- ・「学会の認める2単位研究会 オンライン開催 単位認定申請書」2021年11月末日までの受付延期について  
COVID-19拡大の状況を鑑み、2021年11月末開催までの研究会に対し、2021年11月末日受付まで延長することが承認された。

#### 編集委員会[前 用語委員会]（中瀬理事）

- ・用語解説 投稿規定について  
中瀬理事より用語解説論文投稿内規案が提示され、承認された。また、同内規は投稿規程に記載し、「(指定)」を加え、学会誌 JSPEN での運用とすることが確認された。

#### AWARD 選考委員会（山中理事・三原理事）

- ・フェローシップ賞受賞後の国際学会参加期限に伴う副賞条件の読み換えについて  
COVID-19拡大の状況下での、本賞規定に定める受賞後2年以内の ESPEN 参加・発表（副賞授与条件）について問合せがあり、WEB 開催されていれば、期限内（受賞後2年以内の ESPEN 参加・発表）に発表は必須あることが確認された。また、WEB 参加された場合、本賞選考規程第5条における“旅費の実費”を参加費に読み換えて対応することが承認された。なお、演題申し込み後の副賞については、規程通りとすることが確認された。

### X. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 報告事項

#### 総務委員会（飯島理事）

- ・復会再入会新ルール適用後の状況について  
資料に基づき、復会再入会新ルール適用後の運用実績について報告された。
- ・本学会著作物に関する転載許諾申請方法の新設について  
転載許諾申請の専用ページを本学会ウェブサイトの新設したことを報告された。
- ・転載許諾申請の利用目的による許諾基準について  
転載許諾申請の利用目的による許諾基準について、以下のよう定めた。

ガイドライン および コンセンサス	学術目的	無償
	営利目的	有償
学会誌掲載論文 および テキストブック等	学術・教育目的かつ無償配布による提供形態の申請	無償
	上記以外の申請	有償

- ・グレリン様作用薬アナモレリン塩酸塩；エドルミズ錠®の適正使用の周知について  
本学会で予てより国内承認にむけた要望を行ってきたグレリン様作用薬アナモレリン塩酸塩（エドルミズ錠®）が世界初で製造販売承認された。それに伴い、適正使用と投与患者の安全確保のための、エドルミズ錠®の適正使用および全例調査について、本学会ウェブサイトにて周知したことを報告された。
- ・2021年度「医師・歯科医師とメディカルスタッフのための栄養管理セミナー」について  
後援依頼に連動して例年通りの講師紹介等の手続きについて改めて確認したところ、日本病院

会が独自に講師を選定すること、また従来からの協力金も終了するとの報告があった。後援承認は学会の事業もしくは協力事業が前提となるため、今回は見送りの回答を行った。

- ・「栄養の日・栄養週間 2021」に対する後援名義申請について  
公益社団法人日本栄養士会主催の「栄養の日・栄養週間 2021」に対する後援名義使用の許可申請があり、昨年同様に承認された。

#### 広報委員会（名徳理事）

- ・日本医学会「新型コロナワクチン接種医師確保事業」に係るお願い（周知依頼）  
日本医学会を通して、「新型コロナワクチン接種医師確保事業」に係る周知依頼があり、加盟分科会会員への協力依頼となるため当会ウェブサイトで公示することを報告された。
- ・SGH 特別賞候補者推薦者ご推薦について  
SGH 財団より SGH 特別賞候補者推薦者ご推薦の依頼があり、日本医学会分科会などの条件や、「がん」領域にも関係があることから、本学会ウェブサイトで広報を進めることを報告された。

#### 財務委員会（尾花理事）

- ・会計業務と会計事務所の移行について（事務局より報告）  
2021年1月末日をもって会計実務業務を大野公認会計事務所（名古屋）からジール・アカウンティングコントロール（株）（東京・安彦潤也公認会計士）に引き継いだことが報告され、現在学会事務局内に経理担当者を配置し、学会会計業務を行っていることを報告された。
- ・2020年12月31日現在会計報告について。  
2020年12月31日現在の会計状況について報告があり、また次回理事会より四半期毎に会計中間報告を行うことが報告された。

#### 将来構想委員会 JSPEN-U45（鍋谷理事）

- ・JSPEN-U45（ユーフォーファイブ）について  
資料に基づき、JSPEN-U45の概要説明がなされた。世界に認められるエビデンスを作成するプロジェクトを発信できるよう将来構想委員会が支援すること（具体的には研究のための財務的な支援など）とし、その一環として、第36回学術集会でU-45のセッションを設けたことを報告された。なお45歳を超えた場合は、担当するプロジェクトが終了次第、アドバイザーとなっていただくことが確認された。

#### 倫理・利益相反委員会（鷲澤理事）

- ・倫理関連の会員周知と啓発の広報活動について  
本学会ウェブサイト、研究倫理の啓発と、各施設に研究倫理を受けていただく周知をしたと報告された。
- ・新委員会での審議予定事項の報告について  
薬剤師部会より提出された修正課題については、新しい倫理・利益相反委員会にて倫理審査を行うことを報告された。
- ・学術集会発表演題の取り下げについて  
臨床研究法違反・倫理指針不適合が発覚した場合は、当時の各施設の運用を基準とし判断することとし、また取り下げの際の「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)での検索に関してなどの対応について今後も検討を重ねていくことを報告された。

#### 支部統括委員会（三原理事）

- ・支部世話人退任者への感謝状対応について。  
資料に基づき、新支部制度移行に伴い支部世話人会を退任される先生方の概要が報告され、各退任内容に応じて感謝状やお手紙を手配することが報告された。

#### 国際委員会（福島副理事長・前委員長 小谷理事）

- ・前回理事会（2021年2月28日）以降の国際学会について  
ASPEN Nutrition Science & Practice Conference 2021が2021年3月20日から23日の期間にてオンライン開催されたことを報告された。
- ・今後の国際学会について
  - The 49th Congress of the International Society of Surgery (ISS/SIC) - International Surgical Week ISW 2021 - the World's Congress of Surgery（世界外科学会議）の中の“国際外科代謝栄養学会（IASMEN）”が、2022年8月28日から9月1日に延期されることを報告された。
  - PENSA Congress 2020（The 21st PENSA Congress）が、2021年10月14日から16日の期間にてバンコク国際貿易展示場で開催されることを報告された。
  - ESPEN 2021: Virtual Congressが2021年9月9日から14日の期間にて開催されることを報告された。
  - KSPEN 2021: Virtual Congressが2021年6月11日から12日の期間にてオンラインで開催されることを報告された。

#### 保険委員会（飯島理事）

- ・医療技術評価分科会要望の取り下げについて  
外保連より、医療技術評価分科会では医学管理料に関連するA区分に対する要望は審査対象外とするため、要望を取り下げるよう指示があり、要望を取り下げたと報告された。また新委員長となる鈴木理事より、時代にあった保険を獲得・実践していきたいと抱負が述べられた。

#### 教育委員会 国際教育WG（LLL）（高増理事）

- ・LLL Teacher 認定について  
T-LLLが2021年1月22日にWebinarで開催され、日本からのLLL講師資格取得希望者全員が、LLL Teacherに認定されたことが報告された。また、今後JSPENでのLLLライブコースをWebinar上で行うため講師間での準備と参加者への対応方法について周知をしていくことを報告された。

#### 教育委員会 新医師・歯科医師セミナーWG（小山理事）

- ・2021年NST医師・歯科医師教育セミナー（オンライン）について  
資料に基づき、2021年6月5日、6日で開催される2021年NST医師・歯科医師教育セミナー（オンライン）について、内容の報告がされた。ログの取り方については、他学会に倣いZOOMによる配信で受講者の写真を撮ることで進めていることが確認された。なお同セミナーは年3回の開催を予定していることを報告された。

#### 認定・資格制度委員会（福島副理事長・三原理事）

- ・認定教育施設の実地修練の実施運用制度施行に向けてのスケジュールについて  
実施修練実施の届出制へ運用変更について、2021年8月以降の運用に延期すること、併せて実

地修練修了証明書を学会名で発行する方向で進めていることが報告された。

- ・復会者と個人認定資格の復活の定義について  
復会時点で通常の資格認定期間内であれば、認定資格も復活させることが確認された。また、認定期間を超えての申請場合は、会員資格は復活するが、資格維持を希望する場合は、NST 専門療法士は再受験申請、認定医・指導医・認定歯科医については、再取得申請の手続きとする運用とすることを確認された。
- ・2021 年 NST 専門療法士更新必須セミナー（集合型）について  
COVID-19 拡大の影響で中止した同セミナーを 2021 年 11 月 14 日（日）（京都国際会館）で進めていることを報告された。

#### 編集委員会（鍋谷理事）

- ・「学会誌 JSPEN」刊行状況について  
e-Journal「学会誌 JSPEN」（2021 年 5 月 6 日現在）の刊行状況について報告がされた。
- ・「学会誌 JSPEN」掲載状況について  
e-Journal「学会誌 JSPEN」（2021 年 5 月 6 日現在）の掲載状況について報告がされた。
- ・「学会誌 JSPEN」論文投稿状況について  
e-Journal「学会誌 JSPEN」（2021 年 5 月 6 日現在）の論文投稿状況について報告がされた。
- ・その他  
採択になっていたが、学会誌に掲載されていない論文があったため、近日中に発行することで進めていることを報告された。

#### 学術集会実践支援委員会（犬飼理事欠席のため比企理事長）

- ・第 24 回日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会での合同シンポジウムについて  
会長の早川 聡先生よりテーマ：「炎症と腸内フローラ」として当会との合同シンポジウム開催依頼があり、理事長、委員長で確認し、鷲澤理事に対応を一任したことが報告された。

#### ガイドライン委員会（小谷理事）

- ・前ガイドライン委員会委員の退任について  
資料に基づき、ガイドライン委員会を退任される先生方の報告がされた。
- ・ガイドライン委員会メンバーの選任と「がん患者の栄養療法ガイドライン作成ワーキンググループの設置について  
本委員会と作成ワーキンググループ体制の最終案が報告された。
- ・使用言語の統一：GRADE system から Minds へ  
従来 GRADE system に則ってガイドラインを作成してきたが、今後は Minds 診療ガイドライン作成マニュアルに則り進めることを報告された。
- ・会議報告について  
前回理事会後よりオンライン会議を計 4 回行い、協議を進めていることが報告された。
- ・ガイドライン進捗状況の報告について  
資料に基づき、ガイドライン進捗について、2022 年発行にて進めていることが確認された。
- ・Minds 診療ガイドライン作成マニュアルの骨子の説明  
サイエンティフィックレクチャーとして、Minds 診療ガイドライン作成マニュアルに基づき、ガイドライン作成の概要と現在の委員会活動の概要が説明された。

### P003 誤接続防止対策プロジェクト（丸山理事）

- ・厚生労働省班研究参加に関して

昨年12月に「経腸栄養分野での既存広口タイプ誤接続防止コネクタの存続に関する要望」を厚生労働省に提出した。JSPENへの依頼として海外の実態調査や機械的通過試験等があり、順次行っていくことを報告された。

### XI. その他

- ・サイエンティフィックレクチャーの提案について

比企理事長より、理事会時に持ち回りで、各委員会の先生方に担当委員会活動の説明をしていただくことを提案され実施していくことになった。

- ・第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会（JSPEN2023）開催時期変更について

小谷穰治次々期より第39回学術集会開催時期（開催会期）変更について審議の要望があり、まずは関係委員会で協議し、持ち回り理事会にて審議することになった。

#### ■2021年度 第4・5回定例理事会の予定

第4回定例理事会：2021年7月20日（火）16：00～19：00（神戸：集合型：予定）

第5回定例理事会：2021年11月25日（木）16：00～19：00（東京：集合型：予定）

以上

2021年5月20日（水）